

会長就任挨拶

会長 森 川 清 和

梅雨の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて私こと去る5月25日に開催されました総会にて、引き続きご信任を賜り、本会の会長の重責をお引き受けすることとなりました。心から感謝申し上げますとともに、その期待に応えるべく一層の努力を重ねて参ります。

福井県建築士会は、長きにわたり地域の建築環境の向上と安全な住環境の提供に尽力して参りました。これまでの歴史と先人たちの功績に敬意を表しつつ、その業績を引き継ぎ、新たな時代のニーズに応じた活動を推進していきたいと考えている次第です。

さて昨年は、財政健全化に取り組み、結果、会費の値上げについて苦渋の決断をいたしました。会員の皆様には何卒、ご理解を賜りたいと思います。また財政健全化に伴う各事業の見直し、経費削減、会員増強などの取り組みは、さらなる検討を重ねて参りますので、重ねてご理解を賜りたいと存じます。

昨今、建築士を取り巻く環境は多くの課題に直面しております。環境問題や災害対策、高齢化社会に対応した建築技術の開発など、解決すべき課題は多岐にわたります。

私は、福井県建築士会が地域社会にとって欠かせない存在であり続けるために、精一杯、努力する所存でございます。皆様のご支援とご協力を賜りながら、共に歩んでいけることを楽しみにしております。どうぞ今後とも、よろしくお願い申し上げます。

（一社）福井県建築士会 役員名簿（令和8・9年度）

役職名	氏名	支部名
会長	森川 清和	福井
副会長	水嶋 伸宏	福井
〃	松本 正輝	南越
〃	小谷 淳	敦賀
〃	金子 隆司	大野
常任理事	前田 裕之	福井
〃	山崎 芳裕	南越
〃	大島 洋一	若狭

役職名	氏名	支部名
新 常任理事	和田 晃幸	勝山
〃	酒井 芳則	鯖江
新 〃	黒田 秀之	福井
理事	松平 久芳	福井
〃	羽場 千尋	福井
〃	吉田 輝代美	福井
〃	櫻川 幸夫	福井
〃	尾野 和之	福井

役職名	氏名	支部名
理事	岩堀 善廣	福井
〃	岸塚 孝夫	福井
〃	税所 幸男	福井
新 〃	青山 陽一	福井
〃	西村 康二	福井
〃	本岡 美由希	福井
〃	三田村 久光	南越
〃	川榮 眞一郎	南越

役職名	氏名	支部名
理事	柴田 和彦	敦賀
新 〃	村上 誠	若狭
〃	川辺 盛雄	若狭
新 〃	山田 国英	大野
〃	瀬戸川 信之	鯖江
新 〃	辻 明子	敦賀
〃	秋田 耕一	福井
新 〃	平池 美廣	鯖江

凡例：新は新任。標記のないものは留任

（一社）福井県建築士会 委員会名簿（令和8・9年度）

◆総務委員会

役職	支部名	氏名
担当副会長	福井	水嶋 伸宏
委員長	福井	松平 久芳
副委員長	南越	三田村 久光
委員（支部長）	福井	前田 裕之
〃	南越	山崎 芳裕
〃	敦賀	小谷 淳
〃	若狭	大島 洋一
〃	大野	金子 隆司
〃	勝山	和田 晃幸
〃	鯖江	酒井 芳則
委員	福井	岩堀 善廣
〃	南越	安久 弥兵衛
〃	敦賀	福地 礼造
〃	大野	平瀬 博幸
〃	鯖江	瀬戸川 信之

◆会員委員会

役職	支部名	氏名
担当副会長	南越	松本 正輝
委員長	鯖江	鷲田 裕之
副委員長	南越	川端 武志
委員	福井	大澤 宏輝
〃	福井	三輪 光芳
〃	南越	田中 諭美
〃	敦賀	松葉 利哉
〃	若狭	村上 誠
〃	大野	山田 育郎
〃	鯖江	堀江 愛咲美
〃	鯖江	井波 雅博
〃	鯖江	山口 陸空

◆事業委員会

役職	支部名	氏名
担当副会長	敦賀	小谷 淳
委員長	敦賀	柴田 和彦
副委員長	福井	青山 陽一
委員	福井	羽場 千尋
〃	福井	白崎 成人
〃	福井	山岸 幸士郎
〃	福井	西村 康二
〃	南越	谷 康博
〃	若狭	竹下 智之
〃	大野	青木 吉弘
〃	鯖江	上田 順一
〃	鯖江	岩泉 孝治

◆まちづくり委員会

役職	支部名	氏名
担当副会長	南越	松本 正輝
委員長	南越	川榮 眞一郎
副委員長	福井	岸塚 孝夫
委員	福井	尾野 和之
〃	福井	今出 瑞穂
〃	福井	塩崎 圭三
〃	福井	西川 晃治
〃	福井	丸山 晴之
〃	福井	吉田 輝代美
〃	福井	西村 康二
〃	南越	橋本 和之
〃	南越	田中 諭美
〃	南越	立野 順一郎
〃	敦賀	森 勝彦
〃	敦賀	谷口 直利
〃	若狭	藤本 勲

◆まちづくり委員会（続き）

役職	支部名	氏名
〃	大野	脇本 淳子
〃	大野	井尾 のり子
〃	鯖江	田中 信之

◆歴史まちづくり部会

役職	支部名	氏名
部会長	南越	川榮 眞一郎
副部会長	福井	尾野 和之
委員	福井	今出 瑞穂
〃	福井	塩崎 圭三
〃	福井	西川 晃治
〃	福井	丸山 晴之
〃	福井	岸塚 孝夫
〃	堤 徹也	
〃	南越	橋本 和之
〃	南越	田中 諭美
〃	南越	立野 順一郎
〃	〃	玉村 幸一
〃	敦賀	篠原 憲司
〃	敦賀	谷川 清登
〃	〃	奥村 香子
〃	若狭	宮崎 雄平
〃	大野	脇本 淳子
〃	大野	古谷 幸絵
〃	〃	松村 英之
〃	鯖江	高田 健一郎
〃	鯖江	吉本 幸生

◆広報文化委員会

役職	支部名	氏名
担当副会長	大野	金子 隆司
委員長	大野	野尻 泰源
副委員長	福井	板倉 満代
副委員長	若狭	木村 稔

◆広報文化委員会（続き）

役職	支部名	氏名
副委員長	若狭	木村 稔
委員	福井	右近 剛士
〃	福井	丸山 晴之
〃	南越	吉田 輝幸
〃	南越	中野 嘉昭
〃	敦賀	山内 正樹
〃	大野	岸名 大輔
〃	勝山	樹家 淳一郎
〃	鯖江	赤堀 利光

◆試験業務部会

役職	支部名	氏名
担当副会長	大野	金子 隆司
委員長	福井	嶋津 正雄
委員	福井	高間 英一
〃	福井	清水 千知
〃	福井	杉山 瞬
〃	福井	川端 慎司
〃	福井	佐野 民人
〃	福井	平森 幸弘
〃	福井	吉村 充史
〃	福井	山崎 政輝
〃	福井	岸田 慎
〃	福井	岩本 修
〃	福井	河原 大輔
〃	福井	山岸 幸士郎
〃	福井	吉田 由加里
〃	南越	村山 茂雄
〃	敦賀	奥川 直樹
〃	若狭	松井 崇征
〃	大野	浦山 寛人
〃	大野	天池 雄二郎
〃	鯖江	大森 翼

令和8年度 監理技術者講習 開催のお知らせ



本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものです。右記の日程表のとおり開催します。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いします。

受講申込：随時行っています。

受講料：テキスト・講習修了ラベル代込、税込

・WEB申込み…9,500円/1名

・郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講義の内容：DVDによる講義+修了試験（計360分）行います。

申込み方法：日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の申込ページをご覧ください、お申し込みください。

<https://www.kenchikushikai.or.jp>

問合先：（一社）福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

◆令和8年度監理技術者講習 日程表

開催地	開催日		
福井	4月8日(水)	6月3日(水)	8月5日(水)
	10月7日(水)	12月2日(水)	2027年 2月3日(水)
敦賀	6月24日(水)	10月28日(水)	2027年 2月25日(水)

福井会場／第2演習室（定員12名） 敦賀会場／会議室（定員15名）

◆会場所在地

【福井会場】福井県中小企業産業大学校
（福井市下六条町16-15）

【敦賀会場】プラザ萬象（敦賀市東洋町1-1）

建築士会が行う
監理技術者講習
の特色

- ① 建築に特化した実務に役立つ講習
- ② わかりやすく利便性の高いテキスト使用
- ③ 建築士会CPD単位6単位の付与
- ④ 上記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位（2ヶ月に一度3単位取得可能年数最大18単位）が受講後5年間取得可能となります。

お知らせ

令和8年度 一級・二級・木造建築士定期講習について



定期講習は建築士法により建築士事務所に所属する建築士が3年に1回必ず受講しなければいけないこととなっております。

令和5年度中に受講された方は、令和8年度中に受講する義務があります。未受講の方は建築士法違反になりますので、対象の方は必ず受講するようお願いいたします。

建築士会では下記のとおり開催します。

受講申込みは、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。（公財建築技術教育普及センターホームページにてお申し込みください。）

ところ：福井県中小企業産業大学（福井市下六条町16-15）

受講料：12,980円

講義方式：DVD講習

※CPD単位が6単位つきます。昼食を用意しています。

第1回	令和8年7月15日(水)（定員70名）
第2回	令和8年10月20日(火)（定員60名）
第3回	令和9年2月17日(水)（定員40名）

お知らせ

令和8年度既存住宅状況調査技術者講習開催



平成28年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」の説明が義務付けされました。調査の実施は、登録機関の講習を終了した建築士のみに認められる新たな建築士業務です。今年は令和5年度に資格取得された方の3年目の更新時期となります。建築士会では、下記のとおり更新講習2回と新規講習1回を計画しました。是非受講していただきますようご検討ください。

更新講習 CPD2単位（定員24名）

とき：令和8年10月15日(木) 13:30～17:00

令和9年1月20日(水) 13:30～17:00

ところ：福井県中小企業産業大学校 第1中教室

受講料：Web申込…17,000円(税込)、郵送申込…17,600円(税込)

新規講習 CPD5単位（定員12名）

とき：令和8年12月9日(水) 9:30～17:00

ところ：福井県中小企業産業大学校 第2演習室

受講料：Web申込…21,450円(税込)、郵送申込…22,000円(税込)

申込方法：日本建築士会連合会HPよりお申し込みください。 <https://www.kenchikushikai.or.jp>

問合先：（一社）福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

【建築士会準会員の会員拡大について】

本会の準会員は、建築士になる資格がある者またはなろうとする者となっています。

今年度からこの準会員に建築に関連のある技術者(施工管理技士等)の資格保有者を含めることとなりました。

ぜひ会員の皆様より、施工管理技士等の資格を保有されている方にお声をかけていただき、建築士会会員の拡大にご協力をいただきますようお願いいたします。

防犯カメラの設置をお考えの皆様へ

福井県防犯設備協会様より「防犯カメラの設置及び運用・管理ガイドライン」の冊子を数冊いただきました。事務局においてありますので必要な方は是非ご活用ください。

実務に役立つ書籍販売中！！ どこよりも安い！

- ① 建築申請 memo2026(新日本法規)
定価5,390円(税込)のところ
特価4,900円(税込)
- ② 建築消防advice2026(新日本法規)
定価5,830円(税込)のところ
特価5,300円(税込)
- ③ 2026図解建築法規(新日本法規)
定価4,290円(税込)のところ
特価3,900円(税込)

建築書籍のお求めは建築士会事務局で

委員会・ 部会委員募集



福井県建築士会の会員委員会、事業委員会、まちづくり委員会、青年部会など各委員会・部会では若手建築士や意欲ある仲間を随時募集しています。

「建築士の枠を超えた、新しいつながりを。」

実務だけでは得られないネットワークや、自分自身のスキルを広げるチャンスがここにあります。少しでも興味があれば、まずはお気軽にご連絡ください！

連絡先：福井県建築士会事務局 TEL 0776-24-8781

E-Mail info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp



第
13
回

ふくい建築賞2026 応募要項



1. 応募者資格

1. 応募者は、福井県に在住の建築士資格を有した設計者としてします。
2. 主催、協賛団体の会員でない場合は、応募時点でいずれかの団体の会員となっていたいただきます。
3. 応募者は応募作品の設計内容に総括的役割を担った者としてします。(総括的役割を担った者が複数の場合は、連名で応募できます。)

2. 応募対象建築物

福井県内に建ち、2016年5月から2026年5月の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物を対象とします。改修、リフォーム(再生)を含みます。

- 大規模建築部門(延床面積500㎡以上) ●中小規模建築部門
- 住宅建築部門 の3部門に分けて募集します。一人1作品の応募とします。なお、「住宅建築部門」は戸建専用住宅を原則とします。

3. 応募申し込み

2026年6月8日(月)～8月24日(月)

この期間に応募書類の1. 応募申込書・建築概要書(様式1)を提出してください。(FAX、メールも可)

4. 応募期間

2026年6月8日(月)～8月31日(月)

5. 応募料

【各部門】1作品につき、7,000円

振込先: 福井銀行さくら通り支店 普通 口座番号6167530
口座名: ふくい建築賞実行委員会

6. 審査委員会

審査委員長 蜂谷 敏雄(金沢工業大学建築学部建築学科教授)
審査委員 野嶋 慎二(福井大学地域創生推進部本部特命教授)
五十嵐 啓(福井工業大学工学部建築土木工学科教授)

7. 審査方法

審査は1次審査、2次審査、3次審査の3段階審査とします。
審査結果は、HP上に公表します。

【1次審査】応募書類の書類審査を行い、奨励賞と2次審査対象作品を決定します。

【2次審査】1次審査通過作品について、現地審査を行います。審査は、設計者及び建築主、管理者の立ち合いの上で実施し、入賞と3次審査対象作品を選出します。審査は2026年10月を予定し事前に日時を連絡します。

【3次審査】3次審査対象作品について、主催者が準備する審査会場において一般公開プレゼンテーションと質疑を行い最優秀賞・優秀賞作品を選出します。3次審査は2026年11月21日(土)に予定しています。

8. 表彰

【最優秀賞】「大規模建築部門」「中小規模建築部門」「住宅建築部門」各1点(賞金:各部門3万円)

【優秀賞】各部門 数点ずつ(賞金:各2万円)

【入選】各部門 数点ずつ(賞金:各1万円)

【奨励賞】数点ずつ(記念品)

9. 提出・お問い合わせ先

ふくい建築賞事務局

〒918-8233 福井市合島町3号1番地

福井県林業総合センター2階(一社)福井県建築士事務所協会 内

Tel:0776-54-1552 Fax:0776-54-8490

E-mail:fukuijk@fukuijk.jp URL:<http://www.fukuijk.jp/>

文化財修理技術者向け現場研修会 中村家住宅①

主催：福井県生涯学習・文化財課、受託：福井県建築士会

福井県内で多くの文化財の修理が行われている状況を活かし、技術者養成と技術力向上のための研修会を令和5年度より開催しています。今年度は3か所計6日間で、1回目は重要文化財・中村家住宅です。昨年度から進捗した修理現場の見学や左官体験を行います。普段は見られない現場に触れる貴重な機会です。ぜひご参加ください！

と き：令和8年9月26日（土）10：00～17：00

ところ：中村家住宅（南越前町河野1-55）

対 象：文化財や歴史的建造物の修理に携わる又は興味のある技術者（設計監理者、施工技術者）および技能者（各種職人等）、行政担当者、建築を専攻する高校生・大学生（高校生は引率者同伴）

内 容：午前 修理現場見学（土蔵）

午後 左官特論、左官体験（漆喰塗り・小舞掻き）

講 師：（一財）京都伝統建築技術協会、（有）山本製材、坂井 順一氏

参加費：無料

定 員：30名（定員を超える場合は県内在住または勤務の方を優先）

申 込：事前申込が必要。締切9月21日（月）

右の二次元コードから、

または下記のメールア

ドレスに申し込みください。

問 合：福井県建築士会文化財研修担当

柴田 shibata3904@gmail.com

備 考：集合場所、持物等の詳細は申込受付後にメールを送信。

希望者にCPD単位を発行予定。

建築士会HPの研修案内をご覧ください。



その後の研修は下記で開催。ぜひご参加ください！

・小浜市小浜西組重伝建地区 11月28日（土）、29日（日）

・県指定 高德寺（敦賀市） 12月12日（土）、13日（日）

・重 文 中村家住宅（南越前町） 令和9年2月27日（土）

【定期報告の必需品】風速計、CO₂測定器等貸出

会員 1,000円/日・非会員 3,000円/日

建築設備の定期報告に必要な、風速計（熱線式）、照度計、CO₂測定器、非常灯引張棒の4点セットを会員特典付きにて、貸出開始致します。器具は全て日本製ですので安心して使用可能です。

利用の際は、建築士会福井支部事務局（TEL 0776-24-8781）の方へお問い合わせ下さい。

老舗木材商「山田銘木店」と「銘木の伝統」(中) ～2代目のインタビュー記録～

本会の機関誌『建築福井』第24号（1973）に山田銘木店2代目・山田巽氏のインタビュー記録がある。50年前の1970年代は第二次ベビーブームを背景に全国的に高まる住宅需要において、地元工務店の在来構法による木造住宅建設からプレハブ住宅産業が急成長したことで知られる。こうした住宅事情でも一般家庭生活における伝統的な「和室」のニーズは根強かったからこそ、この「銘木」座談会のインタビューが企画されたのであろう。そこで山田巽氏の語る「銘木の魅力」を僅かでもお伝えしたい。

伝統的な木造住宅の銘木となれば、まず「床の間」に注目しなければならない。山田氏は次のように語り始めた。「床の間」といいますと床柱、これが床の間の中心です。・・・床柱というのは洋服を着た時のネクタイのようなもので、アクセサリーにもなり、それでパツとしめたいわけです。つまり洋服全体のコーディネートに中央のネクタイが重要であるように、床の間の全体構成を品格よく創り出す決め手が床柱であるという。そして上級な「しぼり丸太、紫檀、黒檀、鉄刃木」を具体例として紹介された。

そのうえ山田氏は「しぼり丸太は全国的に使われていて、・・・それに一番上品」とであると説き、「そのつくり方ですが、鬼つづじの枝を魚を焼くときのくしのように両端を削って、それを何百本もつくって丸太に当て10番線か12番線できっちり巻くんです。・・・3年ものが多いです。・・・それを北山では女の人が砂を手につかみながら磨きます」と語るなど、豊富な知見やエピソードがおもしろい。

「床柱」のほか「落とし掛け」と「床框」へと話題は移り、この床の間のフレームとなる3要素は、あえて違う材料を取り合わせるのが大工の妙技であろう。そのほか「板床・畳床」の選び方と工夫、「銘竹」と呼ぶ竹の使い方など話尽きないが、最後に「畳がある限り銘木はすたらない」と力強く語る山田氏には、暮らしの伝統に息づく銘木への矜持が漲っている。

（市川 秀和／福井工業大学）



山田銘木店カタログ「銘木と床の間」より

